

「ながさきファミリープログラム (NFP)」で子育て・交流の輪を

これまで毎月1か条ずつを取り上げて、子育てのヒントや関連する様々な情報などを紹介してきました。

長与町では、もう一つ、この「家庭教育10か条」に基づき、子どもへの効果的な接し方を紹介するとともに、子育てに奮闘中の皆さん同士の交流が深まるような実践の輪を広げようと取り組んでいる事業があります。それが、「ながさきファミリープログラム (NFP)」です。

家庭を取り巻く社会環境の変容と、家庭教育・子育ての困難さ、孤立化する家庭の増加…。このような状況の中で、親が子どもと接する時間が減少し、子育てに自信を持てなくなる一方で相談する相手や仲間を求めている実態に関しては、昨年10月号で紹介しました。

この「ながさきファミリープログラム」は、同じ悩みを持つ保護者同士が、進行役のナビゲートの下、共通する課題について意見を出し合い、参加者それぞれが解決の糸口を見つけ出し出していこうとするものです。

この進行役を「ファシリテーター」と言います。長崎県こども未来課では、県内全市町にファシリテーターを養成し、実践の普及を図ろうと、一昨年度から養成講座を実施しています。長崎市では一昨年に実施し、積極的な取組を実施しており、好評を博しています。

長与町では、「家庭教育10か条」の啓発・浸透にもつなげようと、独自のプログラムテキストと資料集を作成し、昨年の7月末に養成講座を実施しました。

町内小中学校のPTAの役員・先生方を中心に、子育て

支援や社会教育推進に携わっておられる方々から、32人のファシリテーターが養成・登録されました。養成講座に参加した皆さんの満足度はかなり高く、以下の

ような感想をいただきました。

「とても楽しく過ごすことができた。どこの場所でもできそうな、元気づけられる、そして元気になれるプログラムだと思った。」

「参加者に内発的な気づきを生み出すことのできるすばらしいものだ。」

「和やかな雰囲気での話し合いだと、各人の本音が出て、とてもいい会議にできることが分かった。」

親同士が仲良く話している姿は、子どもたちにも安心・安定感を与え、望ましい交友関係を生み出します。

皆さんの学校・幼稚園などでも、この「ながさきファミリープログラム」を大いに利用していただき、一人で悩まず、子どもたちを地域みんなで育むためにも、保護者同士の結びつきを大切に、子育ての悩みなどを共有していけたらと思います。詳しいことを知りたい方は、生涯学習課までご連絡ください。(☎883-1111)

